

調査相談(レファレンス)事例紹介 15



Question

女優・森光子が、群馬県で疎開していたと聞きました。
群馬県のどこに疎開していたのでしょうか？



Answer

森光子（1920-2012）は、女優・歌手等マルチに活躍し、瑞宝章や紫綬褒章、文化勲章を受章、また、国民栄誉賞も受賞されています。生涯で2000回を超える公演回数を誇る舞台「放浪記」での“でんぐり返し”も有名ですね。

第二次世界大戦中、光子はすでに芸能活動をしており、満州や中国、ジャワ島等の戦地慰問を行っていました。国内でも病院や連隊基地を慰問で訪れていましたが、1945（昭和20）年3月10日、目黒で東京大空襲にあい、疎開を決意します。場所は群馬県高崎市、かつて慰問旅行で宿泊した豊田屋（旅館）でした。旅館の手伝いはできないかもしれないと遠慮する光子に対し、女将は、それでもいいと親切に誘ったそうです。実際には疎開中、帳場等の手伝いをしています。

光子は8月15日の終戦の日を高崎で迎えています。玉音放送はラジオがなかったため聞けなかったそうです。しかし、終戦の前日の夜、戦争が翌日に終わることを知っていたと語っています。理由は、8月14日の夜に東京の新聞社に勤める女将の夫からかかってきた「今夜からは寝巻を着て寝なさい」という電話でした。当時は夜中であっても警報が鳴ればすぐに外へ出られるように防空頭巾を枕に眠る生活だったので、“寝巻を着て寝られる”ということは“戦争が終わる”ことを意味すると解釈したそうです。その晩、光子と女将は寝巻を着て寝ましたが、14日深夜から15日早朝にかけ、高崎市に焼夷弾による空襲がありました。豊田屋は無事でしたが、寝泊まりしていた建物（観音山麓付近）の隣家に付いた火を消すため、懸命にバケツリレーをしたと語っています。



参考文献

書名	責任表示	出版社	出版年	資料コード
① 人生はロングラン	森光子／著	日本経済新聞出版社	2009	12960993
② 我ら大正っ子	中曽根康弘／[ほか]著	徳間書店	1961	09429549
③ 女優森光子-心にしみる芸談・人生観	長谷川正人／著	本の泉社	2011	13075551
④ あきらめなかったいつだって	森光子／著	PHP 研究所	2011	13098207

今回ご紹介した他にも調査相談（レファレンス）事例をホームページに多数ご紹介しています。

【群馬県立図書館ホームページ＞調査相談＞調査相談事例・郷土人物データベース】

お問い合わせ：群馬県立図書館 〒371-0017 前橋市日吉町1丁目9-1 電話：027-231-3008